

営農技術情報

発行 令和2年6月30日
第9号

たいせつ農業協同組合
営農部 農産販売課

本所 営農センター 57-2357
支所 営農センター 87-4111

今後の水管理が収量に大きく影響します。
低温に警戒し、適切な水管理を！

○前歴期間の水管理

早いほ場では6月25日頃に幼穂形成期に入り（品種：ななつぼし、普及センター）、前歴期間に入っております。水深を5cmから徐々に10cmまでの深水とし、水温を維持しましょう。用水量が豊富な場所での急激な入水や用水量の足りない場所でも毎日入れ続けることはせずに、ほ場を冷やさない様にしましょう。

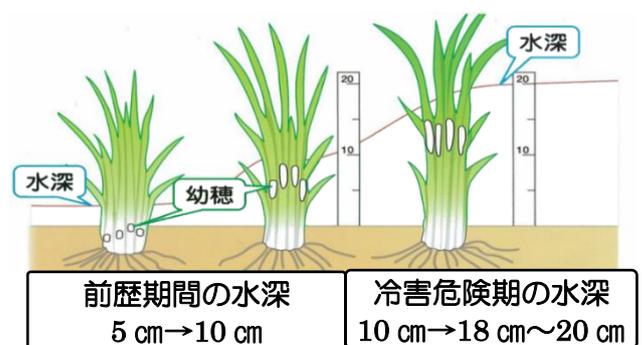
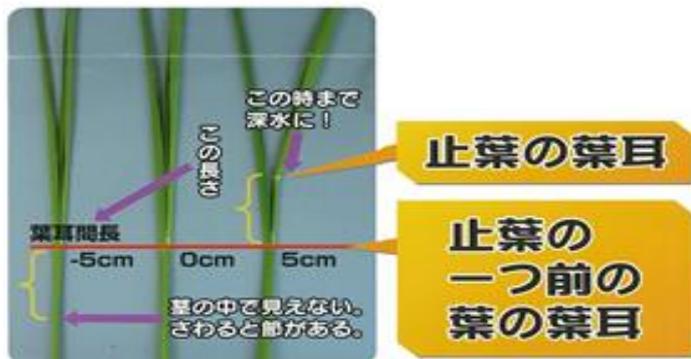
	6月	7月		
	下旬	上旬	中旬	
生育期節	幼穂形成期		止葉期	出穂期
	前歴期間		冷害危険期	
	幼穂形成期から10日間		冷害危険期後7日程度	
管理	深水管理			溝切りの施工 中干し

今後の天気は最低気温が11℃と低い予報の日もあるので、今後の気象情報に十分注意し、深水による適切な水管理を実施してください。

	1日(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)	6日(月)
天気	曇りのち雨	雨	晴のち曇	晴のち曇	曇りのち晴	曇りのち晴
最高気温	24.7℃	18.7℃	21.8℃	23.1℃	24.6℃	23.8℃
最低気温	15.2℃	17℃	11℃	14.3℃	14.7℃	14.1℃
降水確率	60%	80%	30%	50%	50%	50%

○冷害危険期もしっかり深水管理を。(前歴期間10日以降の約7日間)

冷害危険期に低温に遭遇すると正常な花粉が減少します。冷害危険期は止葉と前葉の付け根にある「葉耳」の間隔（葉耳間長）を計測して判断します。止葉と前葉の葉耳間長が-5cmで冷害危険期の始まりとなります。水深は幼穂の伸長に合わせて徐々に深くし、最大18~20cmを保ち、低温から幼穂を守りましょう。天候不順が続くと止葉の抽出が鈍り冷害危険期が長引きますので、葉耳間長を確認して適時深水期間の延長を図りましょう。



※農作業事故には十分注意し、安全作業に努めましょう！